



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		比較
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
7月平均気温（℃）	23.4	22.5	25.6	23.9	25.0	24.1	24.7	23.5	平年比+1.2℃
7月降水量（mm）	168.5	52.5	67.0	33.9	60.0	57.4	295.5	143.8	平年比 205%
7月日照量（h）	62.5	42.9	72.6	56.8	36.3	65.7	171.4	165.4	平年比 104%

- 降水量特記：4月平年比76%、5月平年比67%、6月平年比78%。⇒ 4～6月合計169.5mm（平年比75%）
- 7月上旬気象特記
気温（やや高い）：平年比+0.9℃。高温：7/3 32.2℃、7/9 33.0℃、7/10 34.6℃等。
降水量（極多）：平年比321%。豪雨：7/1 94.5mm、7/4 50.5mm等。7/1～4 合計168.5mm。
日照量（極多）：平年比146%。強風：7/6 11.2m/s 等
- 7月中旬気象特記
気温（高い）：平年比+1.7℃。7/11 35.4℃（今季初の猛暑日）＊7/9～15 連続真夏日観測等。
降水量（極多）：平年比198%。豪雨：7/11 51.0mm、7/13 14.0mm
日照量（多い）：平年比128%。梅雨明け：7/19 頃
- 7月下旬気象特記
気温（やや高い）：平年比+0.9℃。高温：7/21 35.0℃。
降水量（やや多い）：平年比104%。降水量：7/23～26 合計42mm。7/29 16.5mm。
日照量：平年比55%。曇天日多く経過。
- 7月気象特記
気温（高い）：平年比+1.2℃。真夏日2日、夏日15日。最高7/11 35.4℃。 7/9～15 連続真夏日観測。
降水量（極多）：平年比205% ⇒ 上旬321%、中旬198%。7/1 94.5mm、7/4 50.5mm、7/11 51.0mm等。
日照量（極小）：平年比104%。 強風10m/s以上5日。7/6 11.2m/s。

- ぶどう
 - ◆ 春先から生育状況平年並みに推移。6月上旬の低温（開花期）により生育停滞。開花期～満開期にかけて非常に長く推移。花冠の飛び悪く、粒で生育不良やサビ、一部品種で未開花が確認される。
 - ◆ 種なし巨峰袋かけ概ね終了
シャインマスカット北部にて摘粒終盤～袋かけ中
 - ◆ まとまった降雨により降雨により一気に肥大が進んだが、シャインマスカットの黒とう病、巨峰のべと病発生
梅雨明け7月19日（平年比－2日）一気に高温となっている。高温乾燥注意し適宜かん水を実施。
 - ◆ 7月10日～各地区シャイン点検実施
【露地巨峰】
 - ◆ 開花：露地巨峰6/9（平年6/8）、満開6/16頃 6/3～6、6/10～12の低温で生育（開花）停滞。
 - ◆ 6/10頃からジベ処理開始。6/20頃から摘粒作業実施中。肥大一気に進む。
 - ◆ 有核巨峰の結実状況は南部では概ね良好、北部では一部単為結果が確認されている。
 - ◆ 【シャインマスカット】
 - ◆ 開花：6/15 満開6/21。ジベ処理が6/20日頃から早いところで始まる。6/27頃から早いところで摘粒開始
 - ◆ 異常果（小粒、奇形、生育不良粒）は取り除き摘粒作業実施中。
 - ◆ 7/10頃より黒とう病の発生確認。被害部位の切除や防除の徹底指導。

品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- りんご
- ◆ 豪雪：老木樹の枝折れ被害発生 ⇒ 出荷量は昨年比 10%前後の減収見込み。
- ◆ 開花状況（ふじ）：満開 南部 5/3～4、平岡 5/5、北部 5/6～7。
- ◆ 腐らん病：早期多発。病斑部の削り取りや除去は早めに進める。
- ◆ 黒星病：大きな果実感染はない模様。4/26～胞子飛散確認。一部で果実被害多い。
- ◆ うどんこ病：被害芽（ボケ芽）が全域多く、被害も昨年並みに多い。
- ◆ 開花期間中は好天となったが、一部で開花前の凍害の影響で芽しべの枯死や花器異常が散見された。
- ◆ ふじ生産量：中心果の結実はやや良いが、全体量は昨年並みかやや上回る見込み。
- ◆ 中生種生産量：全体に結実良好。ツルサビは少ない。肥大も良好。
- ◆ 肥大調査（7/15）：ふじ縦 54 mm（前年比 94%）・横 59 mm（前年比 90%）
- ◆ 6月中旬から秋映等の胴サビ発生。強風の影響か。
- ◆ 7月上旬の豪雨及び7月下旬の曇天・降雨により炭そ病の果実感染が心配される。つがる・秋映等。

- もも
- ◆ 満開：南部 4/23、平岡 4/24。昨年より 7 日遅れ。一部園地で、凍霜害による花器異常を確認。
- ◆ 生産量は概ね確保できる見通し。ただし、川中島白桃など花粉の無い品種中心に結実量のバラツキ大きい。雪害分も減収もあるため、全体の生産量は昨年比 10%減の見込み。
- ◆ セン孔細菌病：スプリングキャンカーが多い。7 月 10 日頃から葉病斑が散見。
6 月末～7 月 4 日の降雨により、感染拡大した模様。
- ◆ 一部園地で縮葉病、毛じ障害、うどんこ病発生。若木の樹勢衰弱・枯死が散見。
- ◆ 肥大状況：7/15 現在、昨年比 90%。平年比 100%。 極早生種、小玉。早生種以降は平年並み。
- ◆ 品質：サビ・スレ散見。また、双胚果が多い傾向。極早生もも、サマークリスタルに裂果発生。
- ◆ 収穫予想：白鳳 8/1～、あかつき 8/3～、なつっこ 8/13～、川中島 8/24～、黄金桃 8/26～ *昨年比 10 日遅れ見込み
- ◆ 加温ハウスもも：1 棟被覆(8a) 収穫終了
2/24 満開（昨年並）⇒ 結実はやや良好 ⇒ 日川白鳳収穫開始 5/10⇒初出荷 5/11。生産量は昨年比 114%。

- プラム
- ◆ 満開：貴陽 4/16、太陽 4/20（(昨年より 7～10 日遅い) *品種間の生育差 4～5 日程度。
- ◆ 前年の着果過多や開花期前後の低温や土壌乾燥等により、主力品種の太陽・貴陽の結実悪く、全体の生産量は昨年比 20%減を見込む。（品種結実量内訳：太陽悪い・貴陽悪い・秋姫良好・大石昨年並み）
- ◆ 収穫開始予想：大石 7/2、紅 7/17、静香 7/20、サマー E 7/30、貴陽 8/5、きよか 8/17、太陽 8/20 *昨年比 10 日遅れ
- ◆ シンクイムシ類：5 月中旬～（越冬）⇒ 6 月中旬～第 1 世代⇒7 月上旬～第 2 世代急増中。
- ◆ 5 月下旬から灰星病散見発生。7 月上旬の豪雨により黒斑病の果実感染心配される。

- ナシ類
- ◆ 西洋梨の腐らん病が早期多発。今後の感染拡大が心配される。
- ◆ 満開：南水 4/25（南部）・4/30（田麦）、フラ 4/30（田麦） *昨年比 10 日遅れでの到達
- ◆ 生産量：結実良好の見通しであるが、ナシ類全体に面積減のあり、ほぼ昨年並みの見込み。
- ◆ 5 月中旬からアブラムシ類発生 ⇒ その後の高温で 6 月中旬から急増。
- ◆ 肥大調査（7/15）：ラフ縦 44 mm・横 38 mm前年比 82%。南水縦 37 mm・横 44 mm前年比 80%
- ◆ 7/10 過ぎから葉焼け症状散見。乾燥後の豪雨による葉の蒸散作用低下が要因と推測される。
- ◆ 南水の肥大のバラツキ大きい。黒斑病の果実感染が心配される。

- 加温ハウスサクランボ
- ◆ 被覆状況：51 棟（内訳：12 月 2 棟、1 月 10 棟、2 月 21 棟、3 月以降 11 棟、観光 7 棟）
- ◆ 初出荷 3/20 ⇒ 5 月第 3 週 出荷ピーク ⇒ 6 月第 3 週を以て終了。
- ◆ 佐藤錦を中心に結実不良園地が散見された。（花芽不良、開花期の天候不良などの影響と思われる）
- ◆ 高温によるウルミ果が散見された。（4 月中下旬～5 月上旬、5 月中下旬）
- ◆ 最終出荷量 17 t。（昨年比 87%、計画比 94%）
- 露地サクランボ
- ◆ 平岡地区 佐藤錦 満開 4/26（平年比－1、前年比＋7 日）
- ◆ 収穫開始 高砂・香夏錦・佐藤錦 6/11 紅秀峰 6/18
- ◆ 最終出荷量 4.9 t。（昨年比 106%、計画比 70%） 凍霜害による花器異常を確認。高砂中心に結実不良。